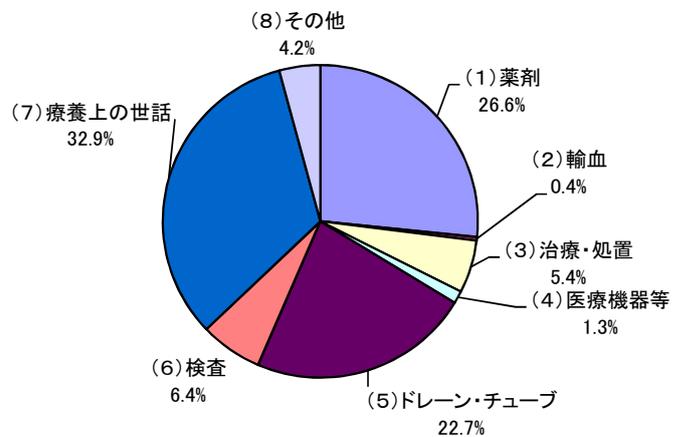


● 2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）
患者さんに影響があった、あるいはその可能性があったインシデント

概要		
項目	件数	%
(1) 薬剤	627	26.6
(うち与薬に関するもの)	(525)	(22.3)
(2) 輸血	9	0.4
(3) 治療・処置	128	5.4
(4) 医療機器等	31	1.3
(5) ドレーン・チューブ	536	22.7
(6) 検査	151	6.4
(7) 療養上の世話	776	32.9
(うち転倒・転落)	(407)	(17.3)
(8) その他	99	4.2
合計	2357	100.0



2020年度は職員から2357件のインシデント報告がありました。

3大インシデントは薬剤に関するもの、転倒・転落、ドレーン・チューブ類に関するものと例年と同様でした。

重要な事例については再発防止のため、関連部署や関連する委員会などと、原因究明や対策について検討しています。

● 手術や検査を安全に行うために

脳梗塞や心筋梗塞など、血栓（血管内での血液の塊り）によって起こる病気を予防するために、抗血栓薬が使われます。

抗血栓薬は血を固まりにくくする作用があり、一度出血すると止まりにくくなります。そのため、手術や検査を受ける前に出血した場合の危険性の程度により、以下のお薬を休薬（服用を中止）する場合があります。

必ず、医師・看護師・薬剤師に
病院などからのお薬だけでなく、
市販薬や健康食品もお知らせください!!



【血をさらさらにする薬】【アレルギーの薬】

- ・アスピリン
- ・クロピドグレル
- ・ワーファリン
- ・エリキュース
- ・エパデル など
- ・バイナス (ラマトロバン)
- ・プロニカ
- ・ベガ (オザグレル) など

【血圧の薬の一部】

- ・ミカムロ配合錠
- ・バルサルタン など

【ホルモン剤】

- ・プラノパール
- ・プレマリン など

【骨の薬】

- ・エビスタ (ラロキシフェン)
- ・ビピアント など

【健康食品・サプリメント】

- ・ニンニク
- ・DHA、EPA
- ・魚油
- ・ノコギリヤシ
- ・ミドリムシ
- ・ナットウキナーゼ など

【ピル】



2019年5月 宝塚市立病院 薬剤部